

島根地方に於ける竹と笹

内田 繁太郎

竹と笹との区別に就ては色々説明されているが、ここでは竹の皮が発生後間もなく落ちるものを竹と呼び、然らざるものを笹と呼ぶことにする。竹笹を合せて竹類というのであるが、さて竹類という旧分類法に従えば禾本科 (Gramineae) に入るべきであるが、解剖上からも花の構造上からも禾本科から分けた方がよいので、我國に於ても1933年中井猛之進博士が竹科 (Bambusaceae Link, 1833) の復活独立を主張してから、以來竹科植物として表わされるようになった。

我國に於ける竹類の種類は昭和の初め頃までは僅々7.80種と称えられていたが、其後急に竹類の研究が進み続々とその新種も発見され今では変種異種合せて700余種に達してある。

さて島根地方にはどれ位竹類の種類があるであろうか？ 島根地方の竹類に就ては大正の末期から昭和にかけて丸山巖氏、岸野頼三郎氏及び林実、高木仵両氏等によりて採集せられ小泉源一博士によって命名発表されたものが数種あるが

Sasa iwamiana Koidz. エグウチコザサ (丸山氏発見, 1937)

S. Maruyamana Koidz. ナガバザサ ()

S. ramosisma Koidz. コバノネマガリザサ ()

Sasaella cappattama Koidz. カツパシノ ()

S. auriculata Koidz. オタフクシノ ()

S. Kishinoana Koidz. イハミシノ (岸野氏発見, 1934)

その総種類に就ては未だ之を明かにされたものはないようであるので、余輩乏しきを顧みず敢て之を就さんと試み、先ず予備調査として次記の如く野生栽植のものを通じ変種異種を含めて従来知られたもの25種、耳新しいと思わるもの42種合計67種を茲に発表することにした。更に未調査のもの並に新種と思われるものもあるが、これらは後日研究を経て発表する考えである。早急稿をまとめたので不備の点も免れぬと思うがこれは後日修補訂正することにする。なお本稿を草するに当り兵庫縣高等学校教諭室井綽君には標品の同定を乞い又松江高等学校教諭丸山巖君には所藏の標品の借覽を許され且つ種々注意と便宜を受けたことを茲に深く感謝する次第である。

従来知られた種類

註 種名と原記載文献を附記するに止める。

1. *Chimonobambusa marmorea* Makino. カンチク (寒竹) F. J. 栽植
2. *Leleba floribunda* Nakai. ホウワウチク・ホウビチク J. J. B. Vol. IX, F. J., A. P. G. Vol. III. No. 1 栽植
3. *L. multiplex* Nakai. ホウライチク J. J. B. Vol. IX, F. J., F. J. S. 栽植
4. *Pleiblastus communis* Nakai. ゴキタケ, ヤマカハタケ F. J., J. J. B. Vol. IX No. 4
5. *P. Fortunei* Nakai. シマザサ, チゴザサ J. J. B. Vol. IX, F. J. 栽植
6. *P. pubescens* Nakai ケネザサ F. J., R. K. Vol. XV. No. 6

7. *P. pygmaeus* Nakai var. *distichus* Nakai オロシマチク J. J. B. Vol. X No. 4, F. J.
8. *P. yoshidake* Nakai ネザサ F. J., R. K. Vol. XV. No. 6
9. *P. Simoni* Nakai メダケ(女竹), ニガダケ, カハタケ(皮竹, 川竹) J. J. B. Vol. X. No. 5, F. J.
10. *Pseudosasa japonica* Makino ヤダケ(矢竹) シノベ, ヤジノ, ヤガラダケ(方言) F. J., J. J. B. Vol. IX. No. 2
11. *Sasa chimakisasa* Koidz. チマキザサ A. P. G. Vol. V. No. 4
12. *S. tyugokensis* Makino チュウゴクザサ(中國笹) J. J. B. Vol. VI, F. J.
13. *S. Veitchii* Rehd. クマザサ, ヤキバザサ, ヘリトリザサ (Syn. *Sasa albo-marginata* Makino et Shibata) F. J. 栽植
14. *Semiarundinaria fastuosa* Makino ナリヒラダケ F. J. 栽植
15. *Shibataea kumasaca* Nakai オカメザサ, ゴマイザサ, ブンゴザサ J. J. B. Vol. IX. No. 2, F. J. 栽植
16. *Sinoarundinaria aurea* Carr. ホテイチク, ゴサンチク, クレタケ (*Phyllostachys bambusoides* var. *aurea* Makino) J. J. B. Vol. IX. No. 1, F. J. S. 栽植
17. *S. nigra* Munro クロチク, シチク (*Phy. nigra* Munro) J. J. B. Vol. IX. No. 1, F. J. 栽植
18. *S. nigra* Munro var. *Henonis* Stapf. ハチク(淡竹) F. J., J. J. B. vol. IX No. 1 (*Phy. nigra* Munro var. *Henonis* stapf.) 栽植
19. *S. nigra* Munro var. *Henonis* Stapf. f. *Boryana* Makino ウンモンチク(雲紋竹) タンバチク F. J., J. J. B. Vol. IX. No. 1 (*Phy. nigra* Munro var. *Henonis* Stapf. f. *Boryana* Mak.) 栽植
20. *S. pubescens* Mazel. マウソウチク (*Phy. edulis* Riv.) F. J., F. J. S, J. J. B. Vol. IX. No. 1 栽植
21. *S. pubescens* Mazel. var. *heterocycla* Houzeau de Lehale キツコウチク(亀甲竹) キブンチク(亀文竹) F. J., J. J. B. Vol. IX No. 1 栽植
22. *S. reticulata* C. Koch マダケ(苦竹)=ガダケ, カラタケ (*Phy. bambusoides* Sieb. et Zucc. *Phy. reticulata* C. Koch.) F. J., J. J. B. Vol IX No. 1
23. *S. reticulata* C. Koch. R. var. *castillonis* Makino. キンメイチク(金明竹) F. J. J. J. B. Vol. IX. No. 1 栽植 (*Phy. reticulata* C. Koch. var. *castillonis* Makino)
24. *Sinobambusa Tootisk* Makino タウチク F. J. S. 栽植
25. *Tetragonocalamus quadriangularis* Nakai, シホウチク(四方竹)シカクダケ(四角竹) J. J. B. Vol. IX. No. 2, F. J. 栽植

新らしい種類

註 66, 67を除いては概して小形のササである。原記載文献のほか主な特徴, 産地, 採集者を附記する。

26. *Pleioblastus diversus* Nakai J. J. B. Vol. XI, F. J. S.
イセメダケ
幹は無分枝或は分枝無毛, 節竹皮葉両面無毛, 松江城山(丸山氏採集)
27. *P. gilbohirsutus* Koidz. A. P. G. Vol. XI. No. 1

- ヤマトネザサ
長者ザサに似るも竹皮の下部に白毛が密生する。葉形メダケに似るも基脚鈍形である。
1935年松江市國屋町にて採集(内田)
28. *P. ikarugaensis* Koidz. A. P. G. Vol. X. No. 1
イカルガネザサ
節に長毛あり、竹皮は無毛なるも葉しようの下方には密毛が生ずる。肩毛は長い。原地は丹波國何鹿郡中上林村である。松江市樂山
29. *P. kinkiensis* Koidz. A. P. G. Vol. VI. No. 2
キンキネザサ
幹面及竹皮、葉しように細毛がある。節膨れ細毛密生葉は無毛。原地は山城鞍馬山、松江市西川町(丸山)
30. *P. kiusianus* Makino J. J. B. Vol. V, F. J.
フシダカシノ
節著しく隆起細毛密生、葉の上面中脈附近に小剛毛がある。仁多郡布勢村佐白(丸山)
31. *P. multifolius* Nakai J. J. B. Vol. IX. No. 4, F. J. S.
チヨウジヤザサ
枝は無分枝又は各節に1—2個つく。節に上向の逆毛生ず。葉は無毛、原地は相模國逗子長者崎、石見馬島、出雲平田旅伏山(丸山)
32. *P. Nagashima* Nakai J. J. B. Vol. IX. No. 4, F. J. S.
ヒロフザサ(平生ザサ)
幹は初め短き逆毛あるも後次第に失う。節に短毛密生、葉しように短き逆毛密生、葉は両面無毛。本種は19世紀に日本より欧州に移植され *Arundinaria Nagashima* Mitford の名で知られていたものであるが本邦にては前川文夫氏が伊勢國中川村平生にて始めて其自生を得た。1951年9月八東郡惠曇町古浦にて斎藤眞太郎氏採集。松江市國屋町(内田)
33. *P. Nakashima* Koidz. A. P. G. Vol. VI. No. 2
ツクシホウデンネザサ
ヒロフザサに似るも葉はやや裏面に向って巻き中脈を除き密に微毛がある。又上面に毛がある。筑前國宗像郡津屋町、筑後國耶摩郡下廣川村が原地である。松江市樂山
34. *P. pseudosimonii* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 2, F. J. S.
フシゲメダケ
メダケに似るも節に毛がある。紀伊、土佐、伊予、九州方面に分布する。松江市西川津町(内田)
35. *Sasa atagoensis* Makino et Koidz. A. P. G. Vol. III. No. 1 F. J. S.
アタゴザサ
節肥厚、竹皮は有毛、葉は枝端に3—6、葉面革質或は紙質。松江市乃木町にて林実氏採集
36. *S. chokaiensis* Makino A. P. G. Vol. III. No. 1, F. J. S.
テウカイチマキ
節上部肥厚、竹皮無毛、葉は披針形或は卵狀披針形、石見浜田波佐村、柿木山(丸山)
37. *S. Doiyoshiwoana* Koidz. A. P. G. Vol. IV.
コベノウツクシザサ

竹皮は外面に粗毛密生，葉は凹脚肩毛なし冬期縁辺黄白す。松江市乃木町(林)

38. *S. grandifolia* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 1, F. J. S.

オホザサ

幹長大径 7 mm 葉は両面無毛，葉しようは初め有毛後無毛となる。肩毛なし，石見市木(丸山)

39. *S. horribilis* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 1, F. J. S., K. A. B.

ホクエツザサ

キンキザサに比するに節膨大せず，葉しように長粗毛あり，葉面は革質。原地は越前敦賀郡ナカアイハツ村，越後八彦山にも産す。邇摩郡大森町にて高木仟氏採集。邑智郡吾郷村(丸山)

40. *S. inequilateralis* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 3

シヤケイチマキ

サトチマキザサに似るも葉は更に斜形にして稍心臟形なるの差がある。原地は但馬生野仁多郡布勢村八代(内田)松江市乃木町(林)

41. *S. iwamiana* Koidz. A. P. G. Vol. VI. No. 2.

エダウチコザサ

分枝の多いわいの性のササである。節低く竹皮長くスズダケ (*Sasamorpha*) に似る。葉縁冬期不規則に枯白する，1936年4月邇摩郡温泉津町にて丸山氏の発見したものである。蓋し当地方産としては異品である。其後石見宅野にて高木，丸山両氏採集。

42. *S. kinkiensis* Koidz. A. P. G. Vol. III. No. 1, F. J.

キンキザサ

中國ザサに似るも幹は丈け高く葉も遙かに長く葉縁は白斑をなす。原地は京都鞍馬山，丹波丹後にも産する。一畑薬師堂の裏山にて採集(1950年5月，内田)

43. *S. latitectrius* Koidz. A. P. G. Vol. VIII. No. 4

ヒロハヤネフキザサ

ヤネフキザサに似て葉幅廣く葉縁冬期枯白し，肩毛よく發達してゐる。原地は美作國眞庭郡川上村で備中，安藝等にも産する。石見市木三坂峠及五里山三階山(丸山)

44. *S. Maruyamana* Koidz. A. P. G. Vol. VI. No. 2

ナガバザサ

名の示す如く葉は長く 33cm にも達する美しいササである。葉形陸中原産の長葉ネマガリダケに似るも更に狭長小舌が平らかで浅い。1936年5月丸山氏の発見にかかゝるもので，原地は那賀郡石見村柿木山である。其後同郡雲城村にて採集した。

45. *S. notopeninsulae* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 3

コウノスザサ

オホザサに似るも葉は基部稍心臟形である。原地は能登フダス郡コウノス町。石見三瓶山，仁多郡横田町(丸山)

46. *S. paniculata* var. *stenatha* Makino et Shibata. F. J.

メクマイザサ

クマイザサに似るも葉は稍小形で上部の葉裏細布密布，竹皮に毛がある。能義郡比田村(丸山)

47. *S. phyllophorrhachis* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 1. F. J. S.

オタギザサ

アタゴザサに似るも竹皮無毛。原地は京都アタゴ山石見浜田にて丸山氏採集

48. *S. palmata* Nakai R. K. Vol. XV. No. 6, F. J.

サトチマキザサ

幹は直生基部斜上する。節に短毛密生、葉は4—7枝端に掌状に排列する。斜形にて紙状革質、狭長楕円形乃至廣長楕円形、短鋭尖頭、凹脚。松江市國屋町(内田)那賀郡波佐村、柿木山(丸山)

49. *S. permilis* Koidz. A. P. G. Vol. VI. No. 4

フシゲキンギザサ

キンギザサに似るも節に毛がある。原地は山城國オタギ郡雲ヶ原、仁多郡鬼の舌振、松江市樂山にて採集(内田)

50. *Sasa ramosissima* Koidz. A. P. G. Vol. VII. No. 2

コバノネマガリザサ

1937年8月隱岐島前高崎山にて丸山氏が発見したものである。葉小さく分枝多くネマガリダケに似る。

51. *Sasa surugaensis* Nakai. J. J. B. Vol. XI. F. J. S.

スルガザサ

幹は基脚弓状節は球形、浜田城山にて丸山氏採集。

52. *Sasa tambaensis* Makino A. P. G. Vol. III. No. 1

タンバザサ

幹は全く無毛葉は膜質下面少しく灰白色を呈し有毛。葉しよう及竹皮は無毛。伯耆大山寺に産する。

53. *Sasa tectrius* Koidz. A. P. G. Vol. III. No. 1

ヤネフキザサ

幹は平滑無毛で分枝し暗紫色を呈するもの多く、葉は小形にして厚く光沢がある。葉しよう葉共に無毛。肩毛は多く之を欠ぐ。原地は但馬カハナシ峠、松江市國屋町伯耆大山寺(内田)仁多郡八川村三井野及阿井村(丸山氏)

54. *Sasa tenuifolia* Nakai R. K. Vol. XV. No. 6, J. J. B. Vol. XI. No. 9

カンムリヤマザサ

幹はわい小、基脚より分枝する。葉の裏面は粉白有毛。雲石の境冠山一名寂地山で津山尙博士採集。

55. *Sasa Uii* Nakai F. J. S., K. A. B., J. J. B. Vol. XI. No. 2

ナリアヒザサ

中國ザサに似て節に細毛密生す。原地は丹波。石見五里山に産す。

56. *Sasaella* (Syn. *Arundinaria*) *Arakii* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 4

ミタケシノ、ヒロシマシノ

節隆起毛茸密生。竹皮起部膨大辺縁に毛密布。葉しよう概ね無毛、葉は両面殆んど無毛。仁多郡三成町、横田町、簸川郡立久恵等にて丸山氏採集。

57. *S. auriculata* Koidz. A. P. G. Sept, 1943.

オタフクシノ

葉は密に羽状に枝端に集り10片位つく。葉幅廣く其形オタフク状をなし竹皮及葉しよう

- に微毛あり、節にも細毛がある。1941年1月石見三隅町にて丸山氏発見す。
58. *S. bitchuensis* Koidz. A. P. G. Vol. VII. No. 4, J. H. M. N. No. 7, F. J.
 ジョウボウザサ
 葉は 10—30 cm 深緑革質，基脚に毛が密布する。原地は備中國上房郡松山村佐與谷。仁多郡三成町にて丸山氏採集。
59. *S. cappatama* Koidz A. P. G. Vol. VI. No. 3
 カツパシノ
 イハミシノに似るも葉は大にして狭長枝端に10片位つく。葉しよ基部，節に長い綿毛密生。葉裏無毛。1937年9月美濃郡足見村にて丸山氏発見す。其後昌智郡市木村及鳥取久松にて同氏採集す。
60. *S. glabra* Nakai J. J. B. Vol. X, F. J. S, J. H. M. N. No. 7
 シヒヤザサ
 アヅマザサに比するに肩毛の發達不良，葉全く無毛，仁多郡横田町(丸山)，簸川郡立久惠(森山正夫氏)採集。
61. *S. Ikegamii* Nakai J. J. B. Vol. X, F. J. S., J. H. M. N. No. 7
 カリハザサ
 中國ザサに似て葉は細長竹皮に直生毛及下向細毛混生す。葉しよは初め粗毛あるも後に無毛となる。又屢々下向細毛がある。葉は両面無毛。仁多郡布勢村佐白にて丸山氏採集。
62. *S. Inuii* Makino A. P. G. Vol. III. No. 3, F. J. S.
 ヒロシマザサ
 葉は稍廣くして細長，節に白毛，竹皮は基部有毛，肩毛あり。葉裏無毛，簸川郡碑原村仁多郡横田町石見益田(丸山)，石見太田(森山)
63. *S. Kishinoana* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 1, F. J. S.
 イハミシノ
 1933年7月故長友岸野頼三郎氏が^{ジブウジ}瀬摩郡井田村鷲峰寺にて発見したササである。岸野氏は当時國民学校に勤務し深く博物学に興味を持ち熱心な採集家であった。種名は其名譽を記念する爲め小泉博士が命名したものである。此ササを丸山氏は備後帝釈にて採集した。
64. *S. phalerata* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 1, F. J. S.
 セキノヤダケ
 幹は直生壯大枝端葉5，長披針形長鋭尖頭或は尾頭，円脚長さ 20—30 cm 径 3—5cm 両面無毛。肩毛長大葉しよは無毛又は有毛。1924年美保関にて小泉氏採集。其後安部嚴毅氏は仁多郡布勢村にて採集した。
65. *S. rhyncantha* Koidz. A. P. G. Vol. IV. No. 2., F. J. S.
 オホバウラジロシノ
 節は膨出せず初めより無毛。竹皮も無毛葉は枝端 6—8 剛紙質両面無毛，仁多郡横田町にて丸山氏採集。
66. *Semiarundinaria Tatebeana* Muroi B. T. Vol. 1. No. 1
 ケナシナリヒラダケ
 ナリヒラダケに似て節無毛，松江市西川津町國屋町乃木町(内田)植栽種である。

67. *S. tranquillans* Koidz. A. P. G. Vol. X. No.4, Vol. XI. No. 1

インヨウチク(陰陽竹)

全形マダケに似るも枝は一節より3本出づ、葉はマダケ(俗に男竹)に幹はメダケ(女竹)に似るので此名がある。能義郡比婆山を原地とする。

註 文 献 略 字 解

F. J. 日本植物総覽訂正増補版 (1931),

F. J. S. 同上補遺版 (1936)

B. M. T. 植物学雑誌,

J. J. B. 植物研究雑誌

R. K. 理科教育, B. T. 植物趣味,

K. A. B. 竹と笹の分類(近野英吉著)

J. H. M. N. 兵庫縣中等教育博物学雑誌